

平成19年6月1日（金）青葉祭り（No.10）号

あ　　じ　　ふる　　さと
阿　字　の　故　郷

高野山真言宗 天応山神保寺 千手院 情報誌
編集者：川上修 詮

御詠歌講の新任講師紹介



玉園和法先生

平成十九年度より、千手院で詠歌講の講師の先生が新しく着任されました。

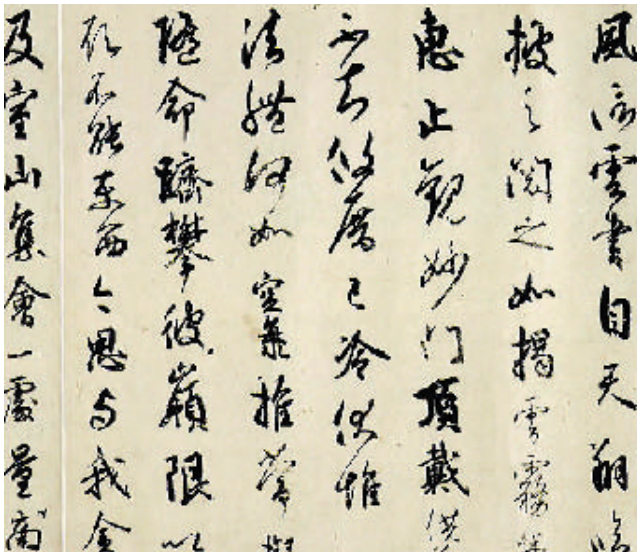
【玉園和法先生】昭和五十二年生まれ・平成十五年第二十六期詠歌青年教師養成講習修了・金剛講相模連合安楽寺支部所属・現在寒川町在住・御詠歌歴五年・バイオリン歴二十五年。コメント「気軽にお唱えできる御詠歌を目指しています」。※大変穏やかな方です。新規生徒募集中です。（住職）

お習字はいかがですか

弘法大師さまは、ご存じの通り書の達人であります。今も尚、特質した存在として書道界に多くの影響を与えています。

現在では、高野山書道協会が運営する、競書大会も開催され、全国から多くの方が参加し出品をしています。

また、千手院本堂でも、毎週火曜日の夕方から、安藤富月先生によるお習字の教室がおこなわれ、小中学校の生徒達はその伝統を受け継いでいます。※見学自由です



弘法大師様『風信帖』の抜粋

本堂建設寄進者芳名札設置

五月中旬より、国道沿い正面入り口横の参詣者用駐車場に、本堂建設寄進者芳名札を設置いたしました。

ご参詣の際は、内容をご確認いただき、訂正や追加のお申し出をお願いいたします。



本堂建設寄進者芳名札

医学薬学等の関係者との懇談

平成十八年十一月二十九日、東京のクラブ関東で、武田薬品が運営する奨学金制度を管理する、財団法人尚志社の社友東京懇談会が行われました。

医学・薬学・その他研究者の方々に対して、「仏教から密教へ・心の旅」と題して、スピーチの依頼がありましたので、卒業生の一員としてお話をさせていただきました。

理事の先生方からは、「若い方達へのメッセージ」を期待されたり、単刀直入に「密教って何ですか」など素直な質問も飛び出しました。一応に寺院や僧侶に対する期待や希望が伝わってきて、責任の重さを痛感させられた次第です。

元々、高野山大学での専攻が、「初期仏教の律・衆学法の一考察」でしたので、日常の礼儀作法から、世間との接し方を中心に研究して参りました。これは、現在の世の中で一番に軽視されている事柄ですので、話しようによっては煙たがられるような内容になってしまいます。

そこで経験上、実際に起こった事柄をおもしろおかしく説明をさせていただきます、反

面教師の要領で伝えるように心がけております。今回も受けをねらっているわけではありませんでしたが、最後まで楽しく応じていただきました。

現在、私の専門分野として担当しております「阿字観・密教瞑想法」は、禅宗の座禅との対比や、ヨガの瞑想法を引き合いに出して、なるべくわかりやすく説明いたしました。

テレビでは、詳しい説明抜きで「真言密教はヨガです」といったような乱暴なコメントも横行しておりますが、周知する課程では起こりうる誤解のように思っております。尚説明の必要性を感じております。

高野山真言宗（密教）の教えは、大変複雑で、難解に受け取られていますが、その精神は、個人個人の命が、大きな命の元でつながっていて、こだわりのない豊かな人生を共有するための方法が説かれています。

軽率に判断することは確かに危険ですが、近寄りがたいだけでは、この宝ものは生かせません。知識や哲学のようにとらえないで、日常生活に生かせる工夫をしていきたいものです。

お塔婆のお申し込み

七月一日よりお盆のお塔婆の浄書を開始いたしますので、**施主の変更が有る方は、六月末日までにご連絡下さい。**

その他、名簿の追加や新盆供養で施主名簿の人数が多い方は、なるべく早い時期にお申し込み下さい。

特に、新盆供養の方は、お塔婆の基数が多い場合が有りますので、早期にご確認の程をお願い申し上げます。

※卒塔婆は、四尺で一基二千五百円です。

お盆供養と施餓鬼供養大法会

八月十日(金) 午後三時開始

藤沢地区・茅ヶ崎地区の寺院ご住職様方の読経により、ご先祖様のご供養をし、お塔婆の開眼と、新盆の精霊の特別供養を致しますので、皆様お誘い合わせの上ご参集いただきますようお願いいたします。

全席椅子をご用意しておりますので、お足元のご心配は無用です。車椅子でのご参拝の場合でも、駐車場の用意が出来ます。

千手院住職が出仕予定の寺院

【七月に住職が伺う予定のご寺院】

二十九日 広徳寺(小和田) 午後三時

【八月に住職が伺う予定のご寺院】

一	日	成就院(大庭)	午後三時
二	日	輪光寺(円蔵)	午後二時
三	日	善福寺(柳島)	午後一時
四	日	長善寺(矢畑)	午後一時
五	日	宝生寺(西久保)	午前十時
六	日	満福寺(萩園)	午後二時
七	日	宝珠寺(辻堂)	午後二時
八	日	円蔵寺(十間坂)	午前十一時
九	日	成就院(甘沼)	午前十一時
十	日	泉蔵寺(片瀬)	午後三時
十一	日	長福寺(松林)	午後一時

※右記の時間帯は、住職読経のため不在ですが、緊急の場合は寺務所にご連絡下さい。後ほどお返事いたします。

平成十九年の年回供養の一覧表

一	周忌	平成十八(二〇〇六)年
三	回忌	平成十七(二〇〇五)年
七	回忌	平成十三(二〇〇一)年
十三	回忌	平成七(一九九五)年
十七	回忌	平成三(一九九一)年
二十三	回忌	昭和六十(一九八五)年
二十五	回忌	昭和五十八(一九八三)年
二十七	回忌	昭和五十六(一九八一)年
三十三	回忌	昭和五十(一九七五)年
三十七	回忌	昭和四十六(一九七一)年
五十	回忌	昭和三十三年(一九五八)年

※ご法事に際し、檀信徒の方々同士で時間が重なる場合がありますので、必ずお寺の予定を確認してから、日時を決めるようにしてください。

尚、庫裡増築完成に伴い、書院が客室として、常時使用可能となりましたので、本堂の控えの間と合わせて、同時に二カ所の使用が可能となりました。

ご法事の間隔も短くできるようになりました。収容人員は、参列者八十名まで、食事は三十名づつ二カ所で可能です。

棚経日程（住職の各家訪問）

八月十三日（月）～十五日（水）迄

十三日 元町・本村・松林・小和田・

代官町・小桜町等の地区

十四日 浜竹・出口町・美住町・松浪・

ひばりヶ丘等の地区

十五日 港南・辻堂・藤沢の地区

※出来るだけ多くのお家に伺う予定ではありますが、天候や緊急の用件等で左右されますので、お伺いできないこともございます。その点はご了承頂きますようお願い申し上げます

秋季彼岸会・稲荷講

九月二十三日（日）午前十一時から

秋の収穫の時期に、境内のお稲荷様に、五穀豊穣と無事円満を感謝いたします。

大勢の方々が参加出来るように、秋の中日を選んで行いますので、地域の稲荷講とは時期を異にしております。

読経の後、軽食を用意しておりますので、是非ご参列下さい。

住職と話しませんか

阿字観（呼吸法）・写仏写経・読経等の、住職が直接担当して行う実修会もあります。

住職からの話もありますが、参加者のお話しもいかがうことが出来ます。言いつばなしの聞きっぱなしで結構ですから、是非一度ご参加下さい。毎月のはがきに日程を掲載して有りますのでご参照下さい。



境内の石仏群

高野山真言宗 天応山神保寺

千手院

〒253-0015 神奈川県茅ヶ崎市代官町1番4号

電話 0467(51)9758

FAX 0467(51)0561

ホーム <http://www.shusen.com/senjuin>

メール senjuin@shusen.com